

講義名	生活マネジメント論			
担当教員	辻本 乃理子			
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考
主題と概要				
<p>わが国の生活環境など急激な社会の変化に対して、生活を営むために必要な知識や能力を身につけることが求められている。本講義においては、生活とは何かを理解し、生活をマネジメントするために必要な知識を習得し、自らの生活をマネジメントとともに他者に対する生活支援のためのマネジメントできる力を養う。</p>				
到達目標				
<p>生活とは何かを理解し、生活をマネジメントするために必要な知識を習得することができる。 この講義は「対面型」で実施します。新型コロナウイルス感染症等の状況により、開講の形式等を変更する場合があります。通学困難となった場合は、達成目標の達成のために別途課題について連絡します。</p>				
提出課題				
講義中に課す小レポートおよび課題。提出方法は授業内での提出またはRYUKA Portalとしますが、講義中の教員の指示に従うこと。				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
提出された課題の記述内容の紹介、質問や評価コメントについては、講義中に行う。				
評価の基準				
<p>定期試験70％、講義中に課す小レポートおよび課題30％。 課題点は内容の充実度、分量など総合的に判断し採点する。</p>				
履修にあたっての注意・助言他				
<ul style="list-style-type: none"> ・受講の内容を基に定期試験、小レポートを課すため毎回出席すること。 ・講義連絡、講義レジュメ・資料の配布は、講義内およびRYUKA Portalで行うため、講義中の教員の指示にしたがうこと。 ・授業後、各回の講義で配布したレジュメ、資料を用いて復習を行い各自内容理解に努めること。不明点に関する質問は積極的に行うこと（質問は授業内でフィードバックする）。 ・授業計画は、進行状況および新型コロナウイルス感染症の状況により変更する可能性がある。 				

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
<p>授業レジュメ・資料の配布は授業中に配布する。 参考文献は講義中に適宜紹介する。</p>				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義の概要説明、オリエンテーション 2. 生活とは何か 3. 家族の理解 4. 家庭生活の理解 家族の歴史 5. 家庭生活の理解 家族と家庭生活について 6. 家庭生活の理解 ライフ・ワーク・バランス 7. 生活経済の知識と理解 生活設計野考方 8. 生活経済の知識と理解 生活経済 命金と幸せ 9. 生活経済の知識と理解 消費者保護と法律 10. 生活経済の知識と理解 消費問題と製品の表示等（その1） 11. 生活経済の知識と理解 消費問題と製品の表示等（その2） 12. 生活経済の知識と理解 13. 衣生活と被服のマネジメント 14. 住生活と住居のマネジメント 15. 本講義のまとめと講義の理解度の確認 				
<p>新型コロナウイルス感染症の状況により、開講の形式をオンライン等に変更するおよびシラバスの可能性があります。通学困難となった場合は、別途課題について連絡します。</p>				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
<input type="radio"/>	ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
<input type="radio"/>	ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク	
<input type="radio"/>	オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク	
<input type="radio"/>	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>予習として、小・中・高校で学んできた生活総合での学びは習得しておくようにすること。また、新聞等で現在の生活や家族に関する人々の意識や行動についての思いや行動を知るようにすること。（30時間） 復習については、各回の講義で配布したレジュメ、資料を用いて各自内容理解に努めること。特に復習には力を注ぐこと。（30時間）</p>				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
現実社会における日常生活での暮らし方と長寿社会における生活環境の創造に資することができる。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
双方向授業は実施しない。				
実務経験の有無及び活用				
備考				
<p>新型コロナウイルス感染症の状況により、開講の形式をオンライン等をオンライン等に変更するおよびシラバスの変更の可能性があります。通学困難となった場合は、別途課題について連絡します。</p>				